

まちおこしの スパイス

地域おこし協力隊



かわしま ひらく
川島 拓 隊員
26歳。北海道より移住

『コロナ禍でもできることを！』

新型コロナウイルスは、地域おこし協力隊の活動にも大きな影響を与えています。私も、昨年度まで取り組んでいた、農業体験のイベントや農業者を集めての勉強会、東京の販売イベントへの参加など、多くの活動ができなくなっていました。

そんな状況下でも、何かできることをしようと考え、来客が減少した飲食店を支援するクラウドファンディングを企画しました。クラウドファンディングとは、インターネット上で広く支援を集める仕組みです。市内の飲食店の方へ参加を呼びかけ、40店舗にご参加いただきました。支援の返礼には、参加店で使える飲食チケットや笠間の野菜セット、陶芸やそば打ちの体験を用意しました。目標金額は100万円に設定したのですが、支援の輪が広がり、最終的には165万6千円もの支援が集まりました。

農業もコロナの影響を受けています。飲食店に出荷していた野菜農家や、新栗まつりが中止になってしまった栗農家などでは、売り上げの減少が心配されました。一方で、全国的に「巣ごもり需要」が高まり、農産物のインターネット販売が注目されるようになりました。そこで、「食べチョク」や「ポケットマルシェ」といった農産物の販売サイトを活用し、出品や受注のサポートをさせていただきますました。こちらも予想以上のご注文をいただき、イベントや販売会でなくても笠間の農産物を楽しんでもらえることを学びました。

コロナ禍で、笠間市だけではなく各地の地域おこし協力隊が奮闘しています。コロナに負けずに活動する地域おこし協力隊に、ぜひ注目していただけたら嬉しです。



栗や梨、野菜やお米など、様々な笠間の農産物が出品されています。



クラウドファンディングにご支援いただいた 皆様ありがとうございました。

Note

地域おこし協力隊とは？

地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住（最長3年）し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。

【問い合わせ】
秘書課（内線224）

フェイスブックも
ご覧ください

